

一橋大学名誉教授藤岡貞彦著作目録

一 教育計画論

著書

『教育の計画化』（総合労働研究所、七七年）

編著書

『講座 日本の学力』第四卷（日本標準、七九年）

論文

「農村社会と教育」（大河内一男他編『教育学全集』第十四卷、小学館、六八年）

「労働と情操教育」（中野佐三・滑川道夫編『現代教育研究』第十四卷、日本標準、六八年）

「日本農村の構造的変化と教育」（『教育』六八年四月号）

「教育目的論論議の為の基礎作業」（『教育』六九年二月号）

「異議申し立て」（『教育』六九年八月号）

「資本主義と教育」（五十嵐頭編『講座 現代民主主義教育』第一卷、青木書店、七〇年、小川利夫共筆）

「教育要求の水路」（『教育』七三年十一月号）

「地域教育運動は何を問うているか」（『教育』七四年十二月号）

「教育計画論の復権」（一橋大学研究年報『社会学研究』十四、七五年三月）

七五年三月）

「住民自治と教育要求」（『日本教育法学会年報』第四卷、有斐閣、七五年）

「教育要求と教育の計画化」（五十嵐頭・矢川徳光編『講座 日本の教育』第一卷、新日本出版社、七六年）

「教育の計画化」（中内敏夫編『教育学概論』有斐閣、七七年）

「地域の人間形成力の教育的再構成」（『生活指導』第二二九号、七七年二月）

「教育計画の主体と課題」（『講座 日本の学力』第四卷、日本標準、七九年、中内敏夫共筆）

「発達を保障する教育運動と教育計画」（『子どもの発達と教育』第七卷、岩波書店、七九年、中内敏夫共筆）

「地域」（『講座・教育の方法』第二卷、岩波書店、八六年）

「地域と学校——日暮里中農業実習にまなぶ」（『教育』八六年八月号）

「地域から教育改革を考える——英国一自治体の教育計画にま
 なんだ」(『教育』八七年一月号)

「国土計画と教育計画」(『教育』八七年八月号臨時増刊号)

「地域教育計画論研究(その一)(その二)」(『東京大学教育行
 政学研究室紀要』第十号・第十一号、九〇年・九一年)

「教育的価値の社会的規定性(上)」(『教育と社会』研究』第
 八号、九八年八月)

書評

「開かれた学校のブランド・デザイン——海老原治善著『地域
 教育計画論』」(『教育』八一年十一月号)

松原治郎・久富善之編著『学習社会の成立と教育の再編』(『月
 刊社会教育』八三年十月号)

二 社会教育・生涯学習

著書

『社会教育実践と民衆意識』(草土文化、七七年)

編著書

『栃木県芳賀町青年団調査報告』(六五年)

『社会教育概論』(青木書店、八二年)

『現代企業社会と生涯学習』(大月書店、八八年)

『地域からの生涯学習計画』(エイデル研究所、九〇年)

訳書

J・E・トーマス著『日本社会教育小史 イギリスからの観察』
 (青木書店、九一年、島田修一共訳)

論文

「農村実力派を組織するもの(上)(下)」(『月刊社会教育』六
 二年二月号、六三年六月号)

「経営伝習農場の変貌と農業教育センターの成立」(宮原誠一編
 『農業近代化と青年の教育』農山漁村文化協会、六三年)

「農業を守る青年のちから(上)(下)」(『月刊社会教育』六三
 年四月号、六四年三月号)

「農業教育研究の基本的前提」(『現代教育科学』六三年五月号)

「共同学習論ノオト(上)(下)」(『日本社会教育学会紀要』第
 二号・第四号、六五年・六七年)

「青年団における指導性の問題」(『月刊社会教育』六五年三月
 号)

「地域民主主義と公民館」(『月刊社会教育』六五年九月号、小
 川利夫共筆)

「昭和三〇年代社会教育学習理論の展開と帰結(上)」(『東京大
 学教育学部紀要』第十卷、六六年)

「農村青年の学習の現段階」(『月刊社会教育』六六年二月号)

「生産大学・農民大学から労働大学へ(上)(下)」(『月刊社会
 教育』六六年六月号、六六年七月号)

「農業教育再編と農民の学力」(『農業経済研究』第三九巻第二
 号、六七年九月)

「労働者教育の現段階(上)(下)」(『月刊社会教育』六七年七
 号)

- 月号、六七年八月号)
- 「共同学習運動の論理」(『月刊社会教育』六八年二月号)
- 「社会教育内容編成の基本的視点——再び生活現実の歴史化的認識について」(『日本社会教育学会年報』第十三卷、東洋館出版、六九年)
- 「社会教育の理論」(矢川徳光編『講座 現代民主主義教育』第三卷、青木書店、六九年)
- 「社会教育実践と民衆意識・序論(一)(二)(三)」(『月刊社会教育』六九年三月号、八月号、十月号)
- 「政治教育」(碓井正久編『教育学叢書 第十六卷 社会教育』第一法規、七〇年)
- 「労働組合教育分析の視点」(『東京大学教育学部紀要』第十一卷、七〇年)
- 「生涯教育論と学校」(『国民教育』第十号、七一年十二月)
- 「自己啓発論批判覚書」(『日本社会教育学会年報』第十六卷、東洋館出版、七二年)
- 「自己啓発と自己教育」(『月刊社会教育』七二年二月号)
- 「社会教育の方法」(碓井正久編『戦後日本の教育改革 第十卷 社会教育』東京大学出版会、七三年)
- 「自己啓発と生涯学習」(宮原誠一編『生涯学習』東洋経済新報社、七四年)
- 「共同学習からの出発」(『月刊社会教育』七四年七月号、百号記念)
- 「社会教育実践分析試論」(五十嵐頭・城丸章夫編『講座 日本社会教育』第九卷、新日本出版社、七五年)
- 「地域社会教育計画のための予備的考察」(『日本社会教育学会年報』第二〇卷、東洋館出版、七六年)
- 「現代人権の民衆的自覚」(『月刊社会教育』七七年一月号)
- 「(こんにちの子どもと教育を考える) 講座のころみ」(『月刊社会教育』七九年二月)
- 「社会教育実践の課題——一九八〇年代と社会教育実践」(『月刊社会教育』八〇年十一月臨時増刊号)
- 「成人教育と大学」(『教育学研究』第四七卷第四号、八〇年十二月)
- 「自己啓発論から学習社会論へ」(『月刊社会教育』八一年六月号)
- 「シェフィールド成人教育史断章」(『一橋論叢』八六年五月号)
- 「信濃生産大学から二〇年」(山田定市他編著『現代農民教育論』あゆみ出版、八七年)
- 「現代の企業社会と生涯学習」(『現代企業社会と生涯学習』大月書店、八八年)
- 「生涯学習の権利」(『科学と思想』第七三号、八九年七月)
- 「現代社会と生涯学習」(『現代教育科学入門』国土社、九〇年)
- 「地域生涯学習計画——批判から創造へ」(『地域からの生涯学習計画』エイデル研究所、九〇年)
- 「生涯学習の社会史(上)」(『教育と社会』研究』第四号、九四年八月)
- 書評
- 小川利夫『社会教育と国民の学習権』(『教育学研究』第四一巻

第二号、七四年六月)

『戦後社会教育実践史』によせて』(『月刊社会教育』七五年一月号)

小川利夫編『現代社会教育の理論』(『月刊社会教育』七七年九月号)

『地域建設の展望をしめす——『住民自治への模索』を読んで』

(『科学と思想』第三二号、七九年四月)

『国民に真に開かれた大学をもとめて——田中征男著』(『大学拡張運動の歴史的研究』)

(『教育』七九年四月号)

社会教育推進全国協議会編『社会教育ハンドブック』(『月刊社会教育』七九年十二月号)

『技術は人間の証 玉井袈娑男著』

『自己発見の技術』(『月刊社会教育』八一年三月号)

津田真微編『新世代サラリーマンの生活と意見』

(『如水会々報』八八年三月号)

『波多野完治著』(『生涯教育論』再読』(『教育と社会』研究』第一号、九一年八月)

佐藤藤三郎『私が農業をやめない理由』(『教育』九四年三月号)

『農民教育論の金字塔——美土路達雄』(『農民教育・生活論』)

(『教育』九四年十月号)

『内橋克人は詩人である——内橋克人著』(『共生の大地』)

(『教育』九五年十月号)

『窠交・東大セツルメント史——宮田親平著』(『だれが風を見たでしょう』)

(『人間と教育』第八号、九五年十二月)

三 教育政策・教育法学

編著書

『資料・日本現代教育史』(第一、四巻、三省堂、七四年)

『教育のあしおと』(平凡社、七七年)

論文

『六〇年代教育改革の特質についてのノオト』(『教育学研究』第三七巻第三号、七〇年九月)

『現代教育改革の争点——六〇年代から七〇年代へ』(『一橋論叢』七一年四月号)

『大学こそ問われている』(『教育』七一年八月号・別冊)

『新版・財界の教育提言』(『教育』七二年六月号)

『後期中等教育多様化政策解体の自己証明』(『教育』七三年十月号)

『多様化政策手なおしの方位』(『教育』七四年七月号)

『教育における住民自治』(『季刊教育法』第十六号、七五年六月号)

『学校教育と社会教育の再編成』(『ジュリスト』第六〇三号、七六年一月一日)

『現代日本教育の基本問題』(『日本の科学者』七八年二月号)

『学力問題の社会化』(『講座 日本の学力』第一巻、日本標準、七九年)

『中教審答申のもたらすもの』(『教育』七九年六月号)

『生涯教育と放送大学』(『季刊教育法』第三三号、七九年十月)

- 「地域形成の教育法社会学的分析」(『講座 教育法』第一巻、総合労働研究所、八〇年)
- 「人的能力開発論二〇年の軌跡」(『法学セミナー増刊 教育と法と子どもたち』、八〇年二月)
- 「中教審『生涯教育』小委報告のリアリティ欠如」(『教育』八一年六月号)
- 「生涯教育政策の成立」(『季刊教育法』第四〇号、八一年七月)
- 「生涯教育政策のめざすもの」(『国民教育』第五〇号、八一年十一月)
- 「生涯教育政策と社会教育行政」(『日本教育法学会年報』第十一巻、有斐閣、八二年)
- 「生涯学習の現実性と可能性」(『季刊教育法』第六三号、八六年七月)
- 「企業社会と大学」(『臨教審のすべて』第四号、八六年九月)
- 「コンプリヘンシブ・スクールからターシャリイ・カレッジへ——英国一自治体の教育改革」(『現代の教育改革 イギリスと日本』エイデル研究所、八七年)
- 「地域再編と大学——キャンパス都市・川崎プランの場合」(『月刊社会教育』八七年三月号)
- 「ウィンダムリア湖畔でのサイモン講話」(『教育』八八年一月号)
- 「生涯学習政策と高等教育計画」(『日本の科学者』八九年四月号)
- 「地域生涯学習計画の社会的基盤」(『叢書 産む・育てる・教える』第一巻、新評論、九〇年)
- 「発題 一九九〇年代教育改革の焦点」(『一橋論叢』九七年十一月号)
- 「大学政策史上の汚点」(『教育』九八年十一月号)
- 書評
- 山住正己編著『学校教育と住民自治』(『季刊教育法』第二四号、七七年七月)
- 『川崎教育懇談会報告書』(『季刊教育法』第六七号、八七年四月)
- 「大田堯・堀尾輝久著『教育を改革するとはどういうことか』を再読しよう」(『教育』九七年十一月号)
- 教育時評
- 「一夜演げの生涯学習論を嗤う」(『教育』八六年六月号)
- 四 環境教育学
- 編著書
- 『全書・国民教育 第九巻 公害と教育』(明治図書、七〇年)
- 『公害授業の実践記録』(「公害と教育研究資料」第一巻、明治図書、七二年)
- 『「環境と開発」の教育学』(同時代社、九八年)
- 論文
- 「公害と教育」(『教育』六八年二月号)
- 「新潟水俣病判決の意義」(『教育』七一年十二月号)
- 「公害と教師」(『公害研究』第四号、七二年四月)

- 「住民運動と教育運動」(『教育』七十二年十月号)
- 「公害とたたかう教師像」(『子どものしあわせ』七十二年十一月号)
- 「公害学習の成立」(国民教育研究所編『公害学習の展開』草土文化、七五年)
- 「環境権と教育権」(『国民教育』第二三号、七五年二月)
- 「巨大開発と教師・住民」(『国民教育』第三一号、七七年二月)
- 「都市の文化」を教育的に読む(『教育』七七年十一月号)
- 「高校教育実践における課題学習の系譜」(『教育』七八年九月臨時増刊号)
- “Environmental Education in Japan” (*Hitoisubashi Journal of Social Studies*, Vol. 3, No. 1, 1981)
- 「地域課題学習の教育的意義」(国民教育研究所環境と教育研究委員会編『地域開発と教育の理論』大明堂、八五年)
- 「日本における環境学習の成立と展開」(福島要一編『環境教育の理論と実践』あゆみ出版、八五年)
- 「環境学習がコアカリキュラムとなる日」(『教育』八八年十月号、五〇〇号記念)
- 「教育における自然の復権」(『教育』九一年三月号)
- 「〈環境と開発〉の教育学——教育的価値の社会的規定性をめぐって」(『教育』九五年十二月号)
- 「みんなで環境問題にとりくもう」(『人間と教育』第十号、九六年八月号)
- 「ポスト・チュルノブイリ段階の環境教育」(『〈環境と開発〉の教育学』同時代社、九八年)
- 「古今伝授」(『足尾鉍毒事件現地学習交流集会報告集』、九八年六月)
- 「環境教育という希望」(『如水会々報』九八年八月号)
- 書評
- 宮本憲一『日本の環境問題』(『教育』七六年三月号)
- 戸石四郎『地球化時代と環境教育』・序文(九〇年三月)
- 田中裕一『石の叫ぶとき』・序文(九〇年三月)
- 教育時評
- 「高校生がまもる教育環境権」(『教育』九六年四月号)
- 対談
- 「対談 環境・人間・教育」(『教育』七八年六月号)
- 「対談 いまこそ真の総合学習を」(『生活教育』九八年十一月号、六〇〇号記念)
- 五 青年期教育論
- 論文
- 「青年期教育の内容づくりをもとめて」(『教育』六八年二月臨時増刊号)
- 「青年期教育における『学習』と『教授』」(『青年期教育研究』第二号、七四年一月)
- 「教育を人間の場に教育の場に人間を」(『教育』七八年八月号)

「究題 大学教育を教育科学研究の対象に」(『教育』七八年十月臨時増刊号)

「ともに生きる」(『教育』八一年一月号)

「転換期の教育学をもとめて」(『教育』八三年八月号)

「教師に学ぶ」(中小企業家同友会全国協議会編『共に育つ』第一集、八八年)

「学力への挑戦」にたちもどる」(『教育』九四年五月号)

「アナログ世代とデジタル世代との対話」(『教育』九六年五月号)

「同問同機」(教育実践検討会編『問い続けるわれら——学校から・企業から・地域から』、九八年)

書評

「教育とはへ共に生きる」こと——菅 龍一『生徒とともに能力主義をこえて』(『望星』七六年五月号)

「講座 現代高校教育」(『現代と思想』第三七号、七九年九月)

六 時評その他

著書

『教育を人間の場に』(藤岡先生退官記念行事実行委員会刊行、九八年)

教育時評

「地域の個性の発見」(『住民と自治』八一年五月号)

「富士見中間解決の曙光」(『教育』八六年五月号)

「そして学生の問いかけがのこった」(『教育』八六年七月号)

「歌集『冬の教室』に寄せて」(『教育』八六年九月号)

「二たび三たび魯迅を」(『教育』八九年九月号)

「我々は、どこから来てどこへ行くのか」(『教育』九六年五月号、六〇〇号記念)